

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

177号



2016年2月25日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

○ 中央図書館移転と跡地問題

1月18日(月)の地域センターでの説明会以来、水面下では、大きな進展はないようです。

なんとか地元の気持ちを生かせないか、という利用圏内に収めようという考えももつともですし、高島平よりは上板橋の方が近くて利用しやすい(やや身勝手)、という苦渋の考えの中から、平和公園近くの教育科学館の見直しに着目しました。教育科学館はプラネタリウムが主たる設備ですが、果たして充分活用されているのでしょうか。つくば大職員寮もあります。

板橋区には大問題になったホテルの飼育館など、箱物設備が少なからずあるようです。そういうものの整理統合も必要でしょう。強引に平和公園への移転計画を押し進めることは禍根を残すのではないのでしょうか。

○ 「日本と原発 4年後」の上映

河合弘之さんが製作した映画「日本と原発4年後」の上映会がひきつづき参加者を募集しています。掲載を依頼された訳ではありませんが、有意義な催しなので二つの上映会について紹介します。

- * 3月11日(金)18時50分～
板橋区立文化会館大ホール
(「日本と原発 4年後」上映会 in 板橋区主催)
1000円 学生無料 小泉純一郎氏挨拶
チケット入手方法は以下のWEB参照
<https://nihontogenpatsuitabashi.wordpress.com>
- * 4月2日(土)10時～(河合氏の講演付き)
13時15分～ の2回
狛江市西河原公民館学習室1
500円 学生無料
(「日本と原発一上映委員会」主催)
連絡先 03-3430-2374 種山

○ 南宇都宮駅「まちなみ景観賞」 記念講演から

1月27日(水)午後、宇都宮市総合福祉センターで、「第17回宇都宮市まちなみ景観賞受賞作品についての記念講演がありました。

宇都宮美術館主任学芸員 橋本優子さんの南宇都宮駅についての講演の中で、板橋区常盤台のこと、常盤台駅のことをパワーポイントで報告されていました。宇都宮の人たちにとっては初めて聞く名前だったことでしょう。

丁度よい機会だったので、東武宇都宮駅長にも缶バッジのお礼と、景観賞受賞のお祝いを述べてきました。

常盤台駅の保存について、改めて東武鉄道に要望したいと思います。

東武鉄道がもし観光にも力を入れるならば、私達が昨年計画実行したような、「常盤台駅→南宇都宮駅→宇都宮市(ギョウザ食べ歩き)→大谷石建築史跡めぐり→東京」というバスツアーなどを企画したらどうでしょうか。

○ 観光立国をめざす日本？

日本は本気で観光立国をめざしているのでしょうか。おもてなしの心や正直さ、自然の美しさなどは他国にひけを取らないでしょうが、街並みや都市部の景観となると全く欧米の建築の美しさに太刀打ちできません。先ずこの電柱と電線を何とかしないことには何も始まらないと思います。我が常盤台も広告や電柱がなくなったら、景観重点地区にふさわしいきれいな街でいられるのですが・・・

中国人の爆買いなど一過性の現象をあてにしてはいけません。

龍谷大学牛尾ゼミ来訪

京都伏見区の龍谷大学法学部の学生一〇人が、牛尾洋哉教授に引率されて、二月二十二日に常盤台に來ました。街歩きをしながら、宮澤邸のこゝと、図書館脇の暫定駐輪場撤去のこと、駅舎と南宇都宮駅、中央図書館の問題などを話しました。

彼らはその日の午後は浅草を訪れ、景観問題と観光とを関連付けた研究を目的に、翌日は国交省の官僚に提案をし、最後の日は国立を訪れるそうです。法学部には珍しく現場主義の、活発で礼儀正しい学生達にいつも感心します。

龍谷大学の人たちは必ず「キッチンときわ」でオムライスを食べることになっていて、今回も堪能して行きました。まちづくりをめぐる彼らとの交流が永く続いてほしいものです。

南宇都宮との交流

交流といえは、南宇都宮の駅前にミナミ食堂と言うお店があります。駅舎を見に行った際、地元の人たちはどう思っているか知りたいたいと思い、たまたま入ったその店で、周辺の歴史などを教えてもらいました。それが縁で、お店の人が常盤台駅を見に來ました。花の季節にまた来訪の約束になっていきます。駅舎がもたらした不思議な縁で住民同士の交流が始まっています。

遠く宇都宮と板橋区に、大谷石造りのそっくりな駅舎が、相互の関連も忘れられたまま、それぞれ八十年も承らえていたのは奇跡的なことです。機会があったらぜひ東武宇都宮線の南宇都宮駅を訪れてください。何気なく通っていた常盤台駅も、その貴重さが解るはずで。

バザーの準備をよろしく

今年も参議院選の年です。投票の人出を見込んで景観を守る会恒例のバザーを行う予定です。自分には不要だが人に喜ばれると思われれるものがありましたらその日まで保管して置いて下さい。詳しくはまたお知らせします。

マーマレードをどうぞ！

公園の花作りの会では、チューリップの球根代など、活動費の捻出のため、TさんAさんから無農薬の夏みかんをいただき、手作りのマーマレードを作って売ることになっています。今年もAさんが植木屋さんが入ったついでにもいだそうで百個以上を車で届けてくださいました。いらい毎日鍋やビンと格闘しています。

景観を守る会がバザーをする際に売りますので、宜しくお買い上げください。

普通のマーマレードはどうしても農薬残留、添加物、防腐剤などの危惧がありますが、これはそういう恐れが一切ありません。また、独特の苦味を除くために普通は何度も茹でこぼしますが、苦味も風味のうちなのでそのまま活かしています。

ピンは食器洗機にかけてから熱湯消毒し、熱いまま中身を入れて蓋をしていますので、無開封なら冷蔵庫で一年は持つと思います。が、開封されたら防腐剤がないので早めに召し上がってください。ヨーグルトにかけると本当に美味しいのです。

常盤台公園のはなづくり

チューリップの芽が出てきました。春の気配をどうやって感じるのでしょうか、自然の不思議さに驚きます。

チューリップは大の水飲みで、乾燥が続くと花芽にダメージがあるそうです。が、のっほのTさんが時々水を撒いてくれているようです。感謝！

長老のTさんは八十歳を超えてますますお元気で。自分の行動が社会の役に立っていることが自覚される人は元気で長生きだそうです。Tさんも足腰の痛みを我慢しながらのボランティア活動ですが、同年代の人たちに比べると若さが全然違います。公園のためにいつまでもお達者で、と祈らずにはいられません。

先日Tさんは「戦場で死ぬのが本望」と言っていました。「戦場」とは、その人の生きて活動している現場という意味でしょう。

その言葉で故Yさんを思い出しました。Yさんは早朝、上板一中への通学路の掃除をしながら倒れました。まさしく戦場で倒れたのでした。今でも時々Yさんの姿や、ユーモアに満ちた言葉を思い出します。Yさんはあくまで個人、Tさんは組織が大事、と議論をしたことがあるそうです。様々な場面でこの二人の先達の意見には考えさせられるのです。